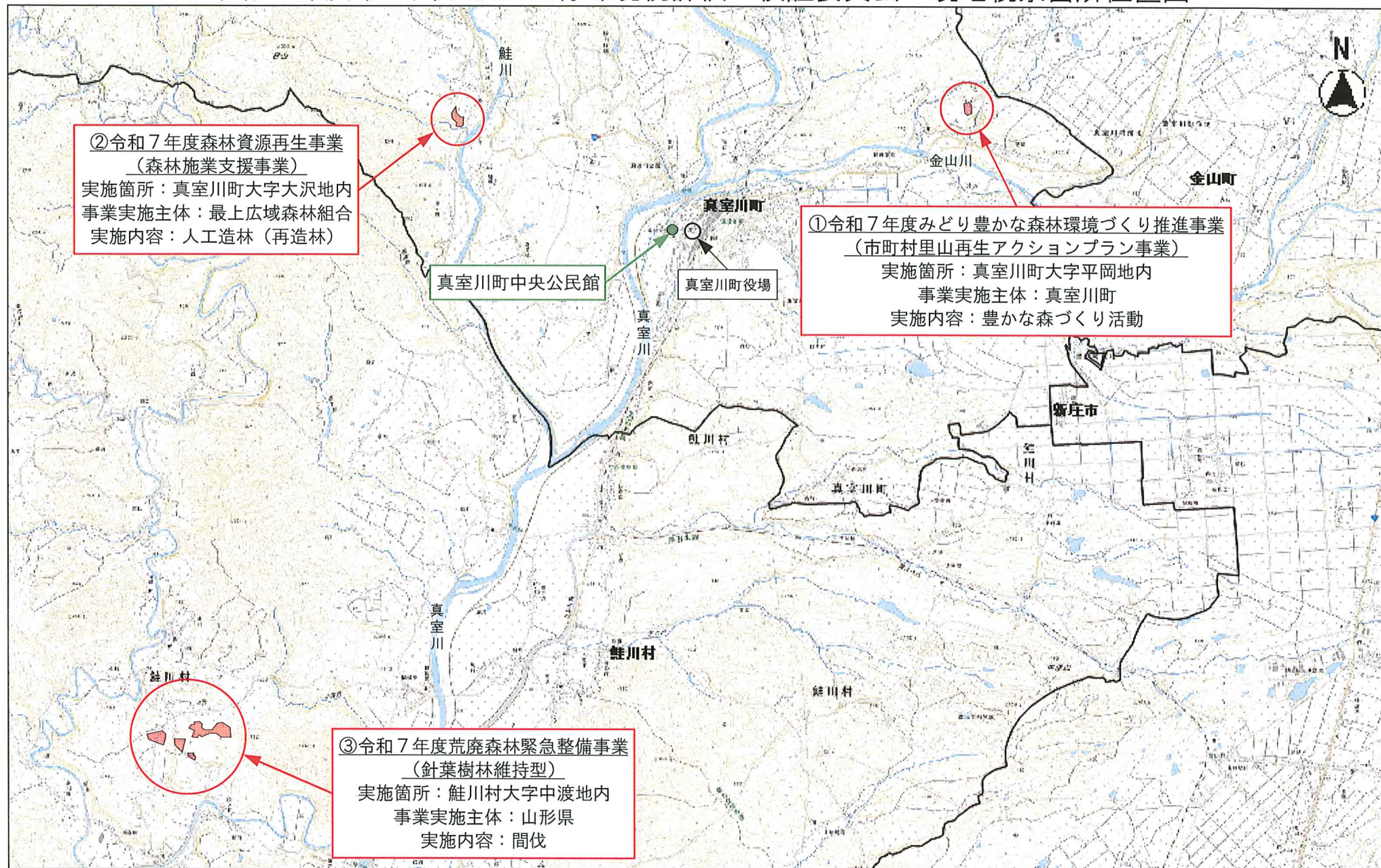


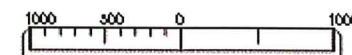
令和 8 年度第 2 回やまがた緑環境税評価・検証委員会現地視察行程

日 時	令和 8 年 9 月 4 日（金） 11:15～15:00
時 間	行程（会議・現地視察）
11:15	やまがた緑環境税評価・検証委員会 【45分】
12:00	昼食・休憩（研修室にて） 【45分】
12:45	現地視察出発 ≪移動：10分≫
12:55 ～13:15	視察① 真室川町大字平岡 地内 【20分】 ・みどり豊かな森林環境づくり推進事業 ≪移動：15分≫
13:30 ～13:50	視察② 真室川町大字大沢 地内 【20分】 ・森林資源再生事業（森林施業支援事業） ≪移動20分≫
14:10 ～14:30	視察③ 鮭川村大字中渡 地内 【20分】 ・荒廃森林緊急整備事業（針葉樹林維持型） ≪移動：20分≫
14:50	真室川町中央公民館 着
15:00	解散

令和8年度第2回やまがた緑環境税評価・検証委員会 現地視察箇所位置図



縮尺 1 : 50000



① 令和7年度

山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【真室川町】

◇団体紹介

真室川町は、山形県の最北端に位置し、総面積は、**37,422ha**に及び、町総面積の約**86%・32,859ha**を森林が占め、そのうち国有林が約**8割：26,231ha**、残りの約**2割：6,629ha**が民有林です。

また、里山の生活形態の変化等により以前より木に親しむ機会が少なくなったことから、次世代を担う小学生に対して森林資源について学習する場を提供するため、当事業を活用しています。



めこしきやま おお女 飯 山 の大 カツラ

◇活動内容

森や自然とのふれあい活動

町内の子供達が林産物へ親しむ機会を創出するために、真室川あさひ小学校と真室川北部小学校で「自然環境学習事業」として「木工クラフト体験教室」を開催しました。

木工クラフト体験教室では、木の枝やどんぐり、松ぼっくり等を使用して写真立てを作製しました。

木工クラフト体験教室

(あさひ小学校)



(北部小学校)



木製下駄箱



木製本棚



木に親しむ環境づくり

県産材の魅力をPRするために「特用林産・県産材利活用事業」として「木製本棚、木製テーブル・ベンチ、観光用案内看板」を作製し、保育施設・観光地へ設置しました。

また原木なめこの消費拡大を目指し、普及啓発として、「原木なめこPRパンフレット」を役場庁舎や産地直売所等へ設置しました。

豊かな森づくり活動

「野生動物との共生事業」として「クマ出没注意喚起チラシ」を作製し、町内全戸に配布することで、注意喚起を促しました。

また、「ナラ枯れ被害林再生事業」として過去に植樹した幼木周辺の下刈りや雪囲いを実施しました。

クマ注意喚起チラシ



クマ注意喚起のぼり



植樹したブナの雪囲い



◇活動の感想及び今後の展開

「森や自然とのふれあい活動」として、「木工クラフト体験教室」を山形県遊学の森の協力のもとに実施し、直接木の枝や木の実に触れながら森林資源の活用について学習する機会の提供が出来ました。

「木に親しむ環境づくり」として、県産材を活用し、木製本棚、木製テーブル・ベンチを製作し、保育園へ設置することで、県産材の魅力を幅広くPRすることが出来ました。

「野生動物との共生事業」として、「クマ・猪注意喚起幟旗」を作製・設置することで、有害鳥獣からの人的・農作物被害の防止に努めました。また、「ナラ枯れ被害林再生事業」として、以前、当事業でナラ・ナラを植樹した箇所の下刈りや降雪前に雪囲いすることで、幼木の生育を保護することが出来ました。

今後もさらなる森林整備に併せて、子どもたちへ森林や自然と触れ合う機会を増やせるよう体験型の事業に取り組んでいきます。

①みどり豊かな森林環境づくり推進事業の概要 (豊かな森づくり活動)

実施日	令和7年6月～12月 令和7年7月4日、8日（金・火） 令和7年10月24日（金） 令和8年3月25日（水）			クマ出没注意のぼり旗設置 緩衝林整備 クマチラシ全戸配布 〃
事業名	野生動物との共生			
実施場所	まむろ川温泉梅里苑地内、町内各所、クマ出没箇所	協力・関係団体等	まむろ川温泉梅里苑地内、町内各所、クマ出没箇所	
事業内容	有害鳥獣侵入防止のための緩衝林整備 クマ注意喚起チラシの作製・設置・配布			
森林整備面積	0.14 ヘクタール			

活動状況写真

緩衝林整備



(施業前)



(施業後)



クマ出没注意のぼり設置

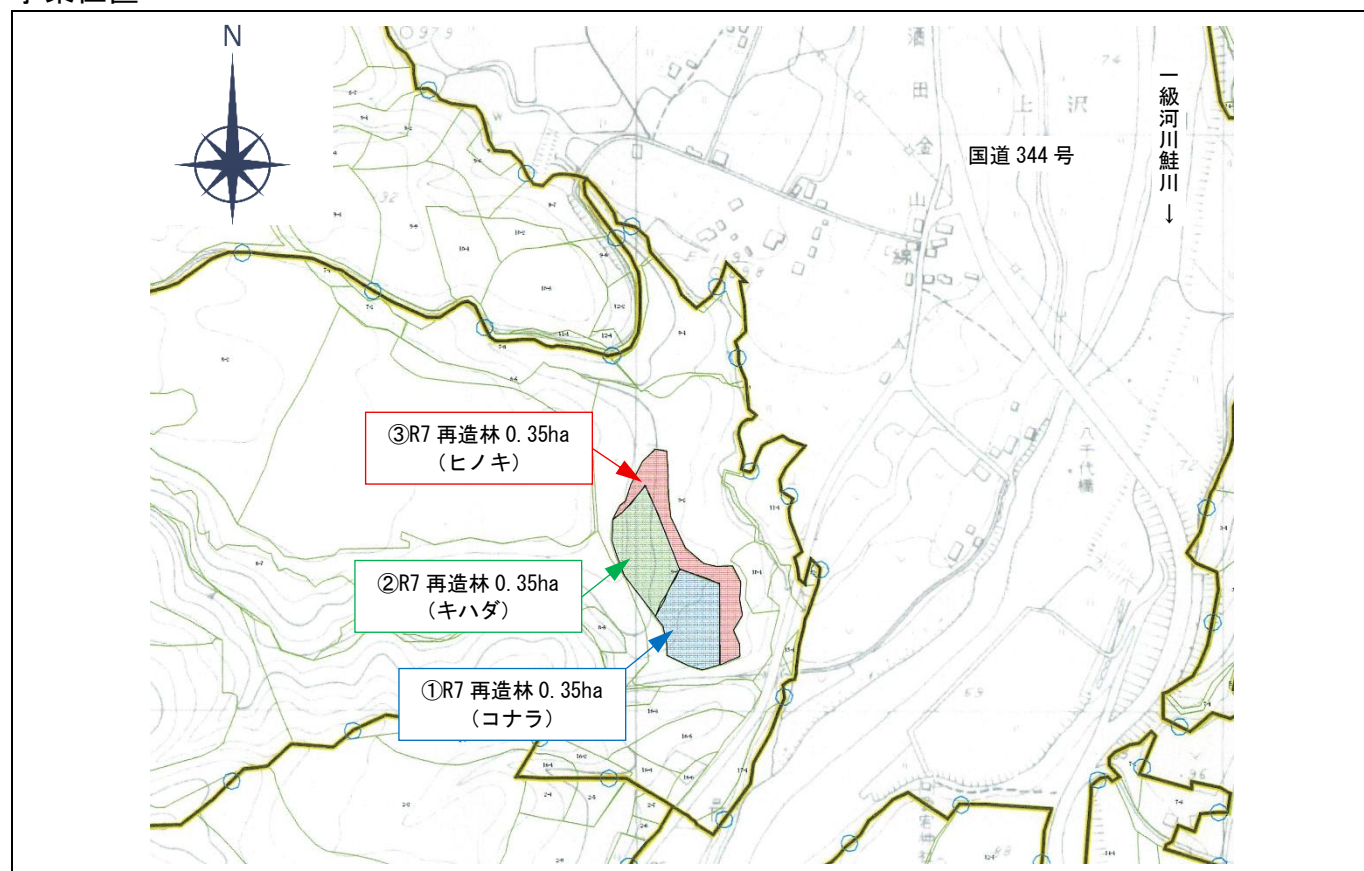


クマ注意喚起チラシ

②森林資源再生事業箇所の概要

位 置	最上郡真室川町大字大沢地内	事業主体	最上広域森林組合
事業内容	再造林（人力・機械併用地拵）	面 積	①0.35ha ②0.35ha ③0.35ha
樹種・本数	①コナラ 700 本 ②キハダ 700 本 ③ヒノキ 840 本		
事業詳細	当該地は、令和6年6月にスギ（75年生）を1.05ha皆伐し、令和7年4月に再造林を1.05ha行っており、①では、コナラ（裸苗）を2,000本/ha植栽し、②では、キハダ（裸苗）を2,000本/ha植栽し、③では、ヒノキ（コンテナ苗）を2,400本/ha植栽した。		

事業位置



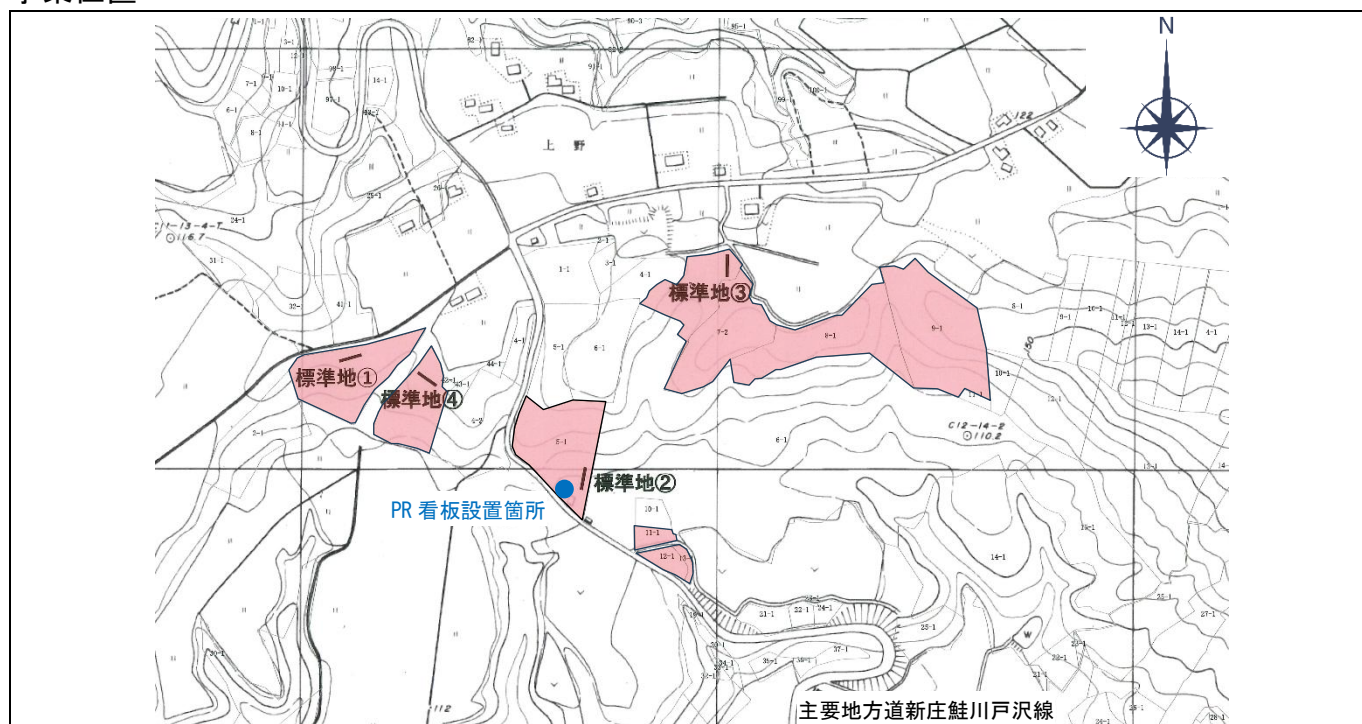
状況写真



③荒廃森林緊急整備事業（針葉樹林維持型）箇所の概要

位 置	最上郡鮭川村大字中渡地内		受託者	最上広域森林組合	
整備前密度	1.450 本/ha	整備後密度	1,025 本/ha	面 積	6.66ha
整備内容	間伐			伐採率	29.3%
整備前の状況	当該地は、林齢 37～60 年生のスギ林で、間伐等の施業が長期間行われていないため過密化しており、下層植生も少ない状況である。				
整備方針	令和 7 年度に間伐（不良木・枯損木の伐採を含む）を実施。				
今 後 の 管理方針	森林組合の協力のもと、森林所有者が長期的な管理を行う。				

事業位置



状況写真



整備前（間伐）



整備後（間伐）